「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の検証

基本的方針1 目指す姿1~4

■本部会の位置づけ(第1回発展会議でご説明済み) 世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議規則第6条に基づき、条例 における4つの基本方針ごとに地域経済の持続可能な発展を目指す会議検証部 会を設けています。本部会においては、各施策の進捗状況をもとに、主にロ ジックモデルを用いて議論いたします。

■本日の流れ

- (1) 「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の検証手順を 事務局からご説明します
- (2) 実際のロジックモデルを基にご議論いただきます

なお、必ずしも(1)でご説明する検証手順に沿う必要はありません。 各委員の独自の視点より、区内産業の活性化、産業の引継ぎの観点から 忌憚のないご意見をお聞かせください。

■本部会で扱うロジックモデル 目指す姿 1 ~ 4

「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の検証手順

1. 行動指標の確認

- →「行動指標」とは、「行動変容に対して寄与のある施策」と定義されている (別冊_「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」のP1より)
- →「支援数」や「情報発信」等、<u>能動的な指標となっているか</u>確認

2. 論理(道筋)の確認

→ (1)で設定した「行動指標」が変化の状況である「短期アウトカム等」に つながる(論理の飛躍がないか)か確認

3. 指標の確認

→変化の状況である「短期アウトカム等」が評価できる指標になっているか確認

4. データ収集方法の確認

→データの収集方法として適切なのか確認

5. 全体の流れを確認

→ (1) ~ (4) を踏まえ、全体の流れを確認

1. 行動指標の確認

行動指標の確認

- →「行動指標」とは、「行動変容に対して寄与のある<mark>施策</mark>」と定義されている (別冊_「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」のP1より)
- →施策とあるため、「支援数」や「対話回数」など能動的な指標となっているか確認

| 指標 | | 横断的 | 指標名 |
|------|---|-----|------------------------|
| | 1 | | 経営相談の受付件数 |
| 行動指標 | 2 | | 産業情報の発信回数 生産性向上支援件数 |

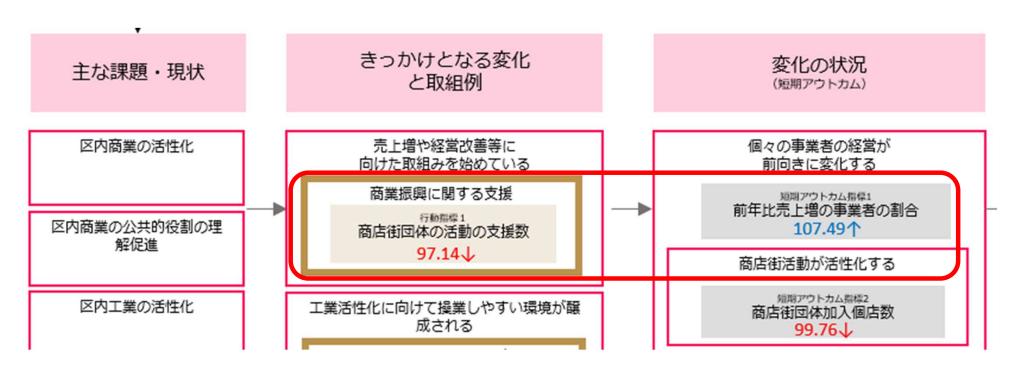
目指す姿2より抜粋

- ○行動指標1の「経営相談の受付件数」については <u>受動的な指標のため</u>、行動変容に対して寄与のある施策としては適切ではない 例えば、「総合経営相談の発信」を行動指標としてはどうか。
 - ※本資料P10では、朱書きで「総合経営相談の発信」に修正しています。

2. 論理(道筋)の確認

論理(道筋)の確認

→ (1)で設定した「行動指標」が変化の状況である「短期アウトカム等」に つながる(論理の飛躍がないか)か確認



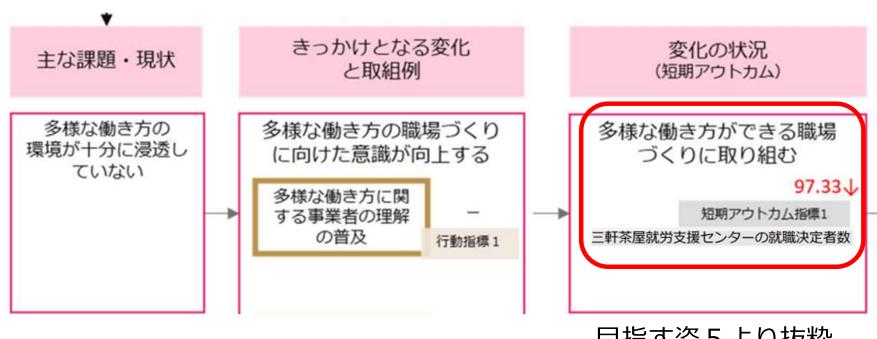
目指す姿1より抜粋

○行動指標1「<u>商店街団体</u>の活動の支援数」が 短期アウトカム指標1「前年比売上増の<u>事業</u>の割合」につながるだろうか 商店街を支援するのみでは、事業全体の売上増となる可能性は低く 例えば、<mark>商店街の</mark>前年比売上増の割合にしてはどうか。

3. 指標の確認

指標の確認

→変化の状況である(短期アウトカム等)が評価できる指標になっているか確認



目指す姿5より抜粋

○変化の状況(短期アウトカム)として、

「多様な働き方ができる職場づくりに取り組む」を設定しているがその指標は「三軒茶屋就労支援センターの就職決定者数」となっている。

<u>単純に就職決定者数では、多様な働き方ができる職場づくりに取り組む状況を</u> 捉えることは<u>できないのではないだろうか。</u>

別の指標を設定する必要があるのではないか。

4. データ収集方法の確認

データ収集方法の確認

→<u>データ収集方法として適切なのか</u>確認

| | 1 | | 地域連携型ハンブオン支援に上り売上好転事業者数 | ハンブオン支援した事業者へのアンケート |
|----------------|---|---|----------------------------|---------------------|
| 中長期アウトカム指 | 2 | 0 | 創業相談等利用者の創業者数 | 創業支援等事業を受講して創業した人数。 |
| 1 ≡ | 3 | | SETAGAYA PORTを通し(美現した連携事業数 | SETAGAYA PORTの連携事業数 |

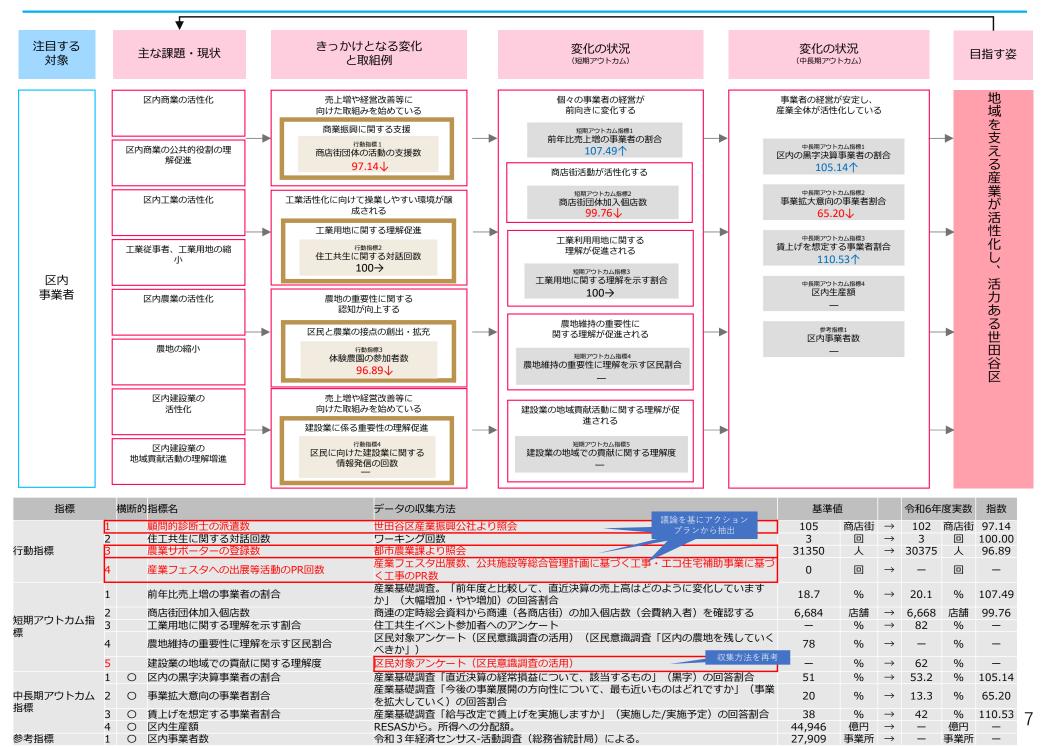
目指す姿4より抜粋

○中期アウトカム指標である「創業相談等利用者の創業者数」の データの収集方法を「創業支援等事業を受講して創業した人数」としているが 受講人数は年度によって変動するため、より正確に把握するためには データの収集方法を「創業支援等事業を受講して創業した割合」と してはどうか。

併せて、指標についても、「創業相談等利用者の創業者の<mark>割合</mark>」と してはどうか。

※本資料P10では、上記の通り修正しています。

目指す姿1 区内産業が活性化し、活力ある世田谷区



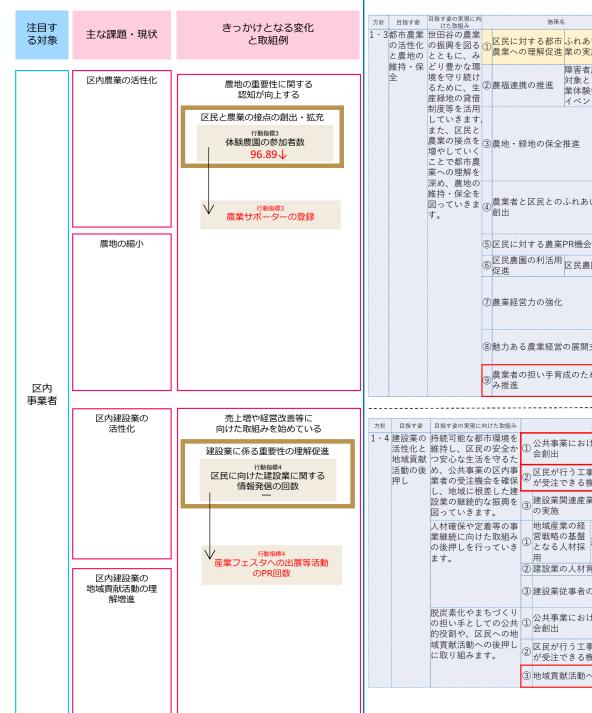
目指す姿1 区内産業が活性化し、活力ある世田谷区

| 注目する対象 | 主な課題・現状 | きっかけとなる変化 と取組例 |
|-----------|-------------------|--|
| | 区内商業の公共的 | 売上増や経営改善等に 向けた取組みを始めている 商業振興に関する支援 行動指標1 商店街団体の活動の支援数 97.14↓ |
| 区内 事業者 | 役割の理解促進 | |
| | 区内工業の活性化 | 工業活性化に向けて操業しやすい 環境が醸成される 工業用地に関する理解促進 行動指標2 住工共生に関する対話回数 100→ |
| | 工業従事者、工業 用地の縮小 | |

| 方針 | 目指す姿 | 目指す姿の実現に向けた取組み | 施策名 | | 具体的取組み | 行動指標 | R6実 | と領 | R6~9まで の達成率 | | |
|----------|--|--|--|--|--|---|---|-------------------------------|------------------------|---|-------|
| 1 - 1 | | 小売業・飲食業等を中 心とする区内商業の活 性化を後押しし、地域 | | せたがやPay事業 の実施 | せたがやPay事業の実施 | せたがやPayアプリ利用者の継続利用率 | 77 | % | 102.7% | | |
| | の公共的 における経済活動や総活動と更 済循環の促進及び活性なる発展 化に取り組みます。 | | | -ン支援の実施 | 地域連携型ハンズオン支援の実 施 | 事業実施前と比較し、売上変動が好転し た事業者数の増加 | 42 | 事業者 | 13.1% | | |
| | | ♡琼児を侢架りるとと | 動を後押しする取組み や環境を構築するとと もに、空き店舗等の発 | 動を後押しする取組み や環境を構築するとと もに、空き店舗等の発 | 1的価値の向上に向けた取組みの推進 | | 商店街等地域の面的価値向上に 向けた支援(エリアリノベー ション) | 地域におけるリノベーションスクール・ 勉強会等の開催 | 6 | 回 | 40.0% |
| | | 生の予防に取り組みます。 | | する取組みの推 | ①まちゼミ・まちバル ②個店グランプリ | まちゼミ・まちバルの実施事業数 | 9 | 事業 | 13.2% | | |
| | 公共的役割や街の賑れいに貢献する商店街等の活動を後押しし、徒の活動を後押しし、徒の活性化に取り組みま | | 貢献する商店街等 ①商店街が担う公共的役割への支援 動を後押しし、街 | | ① A E Dの設置促進 ②スタンドパイプの設置促進 ③防犯カメラの設置促進 ④公共的役割の検討、支援 | ①AEDの設置台数 ②スタンドパイプの設置台数 ③防犯カメラの設置台数 | ①101 ② 35 ③843 | 台 | 91.8% 87.5% 101% | | |
| | | व 。 | ②商店街のマネジメン | | ①顧問的診断士の派遣 (産業振 興公社) ②「リーダー育成」や「起業・ 創業」関連の講座・研修会等の 情報の周知徹底 | 顧問的診断士の派遣数 | 33 | 件 | 100.0% | | |
| | | | 商店街等地域の面 ③的価値の向上に向 けた取組みの推進 | エリアリノベーションの宝施 | 商店街等地域の面的価値向上に 向けた支援(エリアリノベー ション) | 地域におけるリノベーションスクール・ 勉強会等の開催 | 6 | | 40.0% | | |
| | | 商店街等を軸に新たな 事業者や若者が活躍す る一つのプラット | | 地域連携型商店 街事業の実施・ 拡充 | 地域連携型商店街事業の実施・ 拡充 | 地域連携型商店街事業の実施数 | 2 | 事業 | 16.7% | | |
| | フォームとして発展することを支援します。 | | ② 商店街が実施する新 ② の支援 | 「たな取り組みへ | ①若手・女性支援事業の実施 ②新規イベントトライアル事業 の実施 | 若手・女性支援事業補助、新規イベント トライアル事業補助の実施数 | 6 | 回 | 30.0% | | |

| 方針 | 目指す姿 | 目指す姿の実現に向けた取組み | 施策 | 名 | 具体的取組み | 行動指標 | R6実績 | R6~9まつ の達成率 |
|-----|--------------|--|-----------------------------|----------------------------|---|---------------------------------|----------------|----------------|
| 1-2 | の活性化 と工業用 | 時代変化を踏まえた世 田谷工業の競争力維持 と活性化に取り組むと ともに、区内工業の魅 | ① 区内工業の維持・ 保全 | ものづくり事業 者の事業所施設 整備支援 | ①世田谷区ものづくり企業地域共生推進事業 ②世田谷区準工業地域操業等支援事業 | 助成件数 | 1事業 | € 25.0 |
| | | 力発信と、未来のもの づくり人材育成につな がる連携や取組みを後 押しします。 | 工業振興等公共的 | 役割を担う団体の | 産業団体等振興育成補助 | 支援件数 | 1 件 | 25.0 |
| | | | ③工業・ものづくりの | の魅力発信 | 危機管理産業展の出展の支援 | 出展回数 | 0 🗉 | 0.0 |
| | | | 事業者の顔の見え ④ る化と交流促進支 援 | setabizの実施 | setabiz(産業振興公社事業) | ホームページ閲覧数 | 4,981 アク セス | 31.1 |
| | | 準工業地域における事業環境整備の支援とと もに、周辺住民の理解 を促進し、準工業地域 | ① 区内工業の維持・ 保全 | ものづくり事業 者の事業所施設 整備支援 | ①世田谷区ものづくり企業地域共生 推進事業 ②世田谷区準工業地域創業等支援事 業 | 助成件数 | 1事業 | 25.0 |
| | | を中心とする工業用地 の維持・保全を図って いきます。 | | りの推進 | ①住工共生まちづくりワーキング ②住工共生まちづくり交流イベント | ①住工共生ワーキングの参加延べ人数 ②イベントの参加人数 | ①39 人 ②44 人 | 21.79 36.79 |

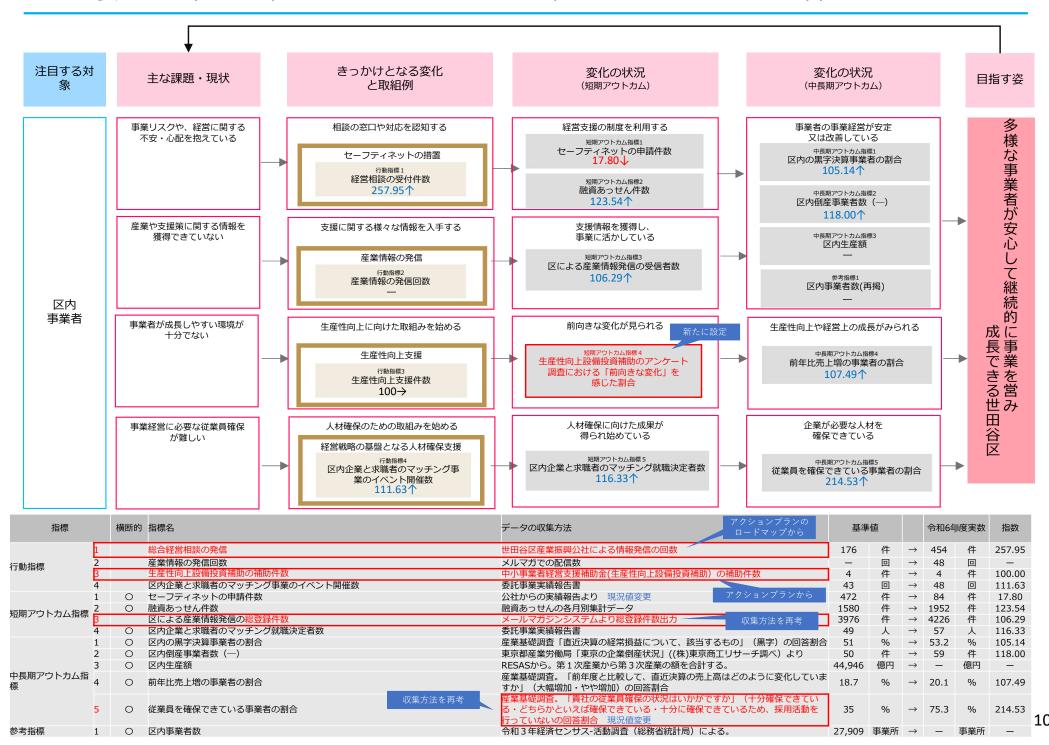
目指す姿1 区内産業が活性化し、活力ある世田谷区



| 方針 | 目指す姿 | 目指す姿の実現に向 けた取組み | 施策名 | | 具体的取組み | 行動指標 | R6実績 | i | R6~9までの 達成率 |
|----|--------------|----------------------------------|-------------------------|-----------------|--|---|----------------------------------|--------|--------------------------------------|
| | の活性化 と農地の | とともに、み | ① 区民に対する都市、 農業への理解促進 | ふれあい農園事 業の実施 | ふれあい農園事業の実施 | ふれあい農園参加人数 | 30,375 | 人 | 22.3% |
| | 全 | 産緑地の貸借 | ②農福連携の推進 | | 障害者施設等を対象とした農作業体験会や 地域イベントの実施 | 農福連携事業を通じた区内就職者数 | 10 | 人 | 66.7% |
| | | 増やしていく ことで都市農 業への理解を | ③農地・緑地の保全排 | 推進 | ①アンケート等の実施による農業者の意向の把握 ②都市農地保全推進自治体協議会(都内38 自治体で組織)を通じた国に対する積極的 な財政支援や税制緩和等の要請活動の実施 ③東京都農業委員会・農業者大会への出席 と同大会を通じた要請活動の実施 | 東京都農業委員会・農業者大会出席回数 | 1 | П | 25.0% |
| | | 深め、農地の 維持・保全を 図っていきま す。 | 農業者と区民との。 ④ 創出 | ふれあいの場の | ②農業体験農園 ③農作業体験塾 ④野菜作り講習会 | ①ふれあい農園開園数 ②農業体験農園開園数 ③農作業体験塾実施園数 ④野菜作講習会実施園数 ⑤花栽培実施小学校数 | 251 | | 24.5% 25% 16.7% 0% 30.8% |
| | | | ⑤区民に対する農業F | PR機会の創出 | 都市農業振興・農地保全PRイベント開催 | 都市農業振興・農地保全PRイベント開催 回数 | 4 | 回 | 16.7% |
| | | | ⑥区民農園の利活用 ⑥促進 | 区民農園の拡充 | 区民農園の拡充 | 区民農園区画数(累計) | 144 | 区画 | 72.0% |
| | | | ⑦農業経営力の強化 | | | ①都市農家育成補助制度交付件数 ②施設栽培促進補助制度交付件数 ③認定・認証農業者数(累計) ④認定・認証農業者補助制度交付件数 | ①24件 ②4件 ③147 名 453件 | 人 | |
| | | | ⑧魅力ある農業経営の | | | ①「せたがやそだち」使用店登録数②せたがやそだちビジネスプランコンテストによる商品化数 | ①22件 ②4件 | 件 件 | 275% 33.3% |
| | | | の 農業者の担い手育所 み推進 | | ①農業塾(農業後継者育成事業)の開催 ②農業サポーターの登録者数の増加に向け たPR活動 | ①せたがや農業塾参加者数 ②農業サポーター新規登録者数 | ①11名 ②7人 | | 25.6% 17.5% |

| 方 | 計 目指す姿 | 目指す姿の実現に向けた取組み | 施策名 | 具体的取組み | 行動指標 | R6実績 | | R6~9まで の達成率 |
|-----|------------------------|---|-----------------------------------|---|----------------------------|-------|---|----------------|
| 1 - | 4 建設業の 活性化と 地域貢献 | 維持し、区民の安全か | | ①公共施設等総合管理計画 ②公契約条例 ③建設工事総合評価方式 | 公共施設等総合管理計画に基づく工事 の実施件数 | 24 | 件 | 22.9% |
| | 活動の後 押し | め、公共事業の区内事業者の受注機会を確保 し、地域に根差した建 | ② が受注できる機会の創出 | エコ住宅補助事業 | エコ住宅補助事業に基づく工事の実施 件数 | 1,637 | 件 | 14.9% |
| | | し、地域に似差した建 設業の継続的な振興を 図っていきます。 | 74 = 11. # FB 1 | 工業団体との意見交換会 建設業関連産業団体との意見交換会 | 意見交換会等の回数 | 2 | 口 | 25.0% |
| | | 人材確保や定着等の事 業継続に向けた取組み の後押しを行っていき ます。 | 地域産業の経 営戦略の基盤 となる人材採 用 | 建設業人材確保・区内中小企業等人 材マッチング・採用促進コンサル ティング事業 | 区内企業と求職者のマッチングイベン ト開催数 | 48 | □ | 26.7% |
| | | | ② 建設業の人材育成促進 | 建設業人材育成支援事業 | 補助件数 | 7 | 件 | 3.1% |
| | | | ③ 建設業従事者の離職防止 | 建設業人材確保・区内中小企業等人 材マッチング・採用促進コンサル ティング事業 | 定着促進セミナーの開催回数 | 5 | 回 | 17.9% |
| | | 脱炭素化やまちづくり の担い手としての公共 的役割や、区民への地 | | ①公共施設等総合管理計画 ②公契約条例 ③建設工事総合評価方式 | 公共施設等総合管理計画に基づく工事 の実施件数 | 24 | 件 | 22.9% |
| | | 域貢献活動への後押し に取り組みます。 | ② 区民が行う工事に関し、区内事業者 が受注できる機会の創出 | エコ住宅補助事業 | エコ住宅補助事業に基づく工事の実施 件数 | 1,637 | 件 | 14.9% |
| | | | ③ 地域貢献活動への後押し | 産業フェスタ | 産業フェスタへの出展回数 | 1 | □ | 12.5% |

目指す姿2 多様な事業者が安心して継続的に事業を営み成長できる世田谷区



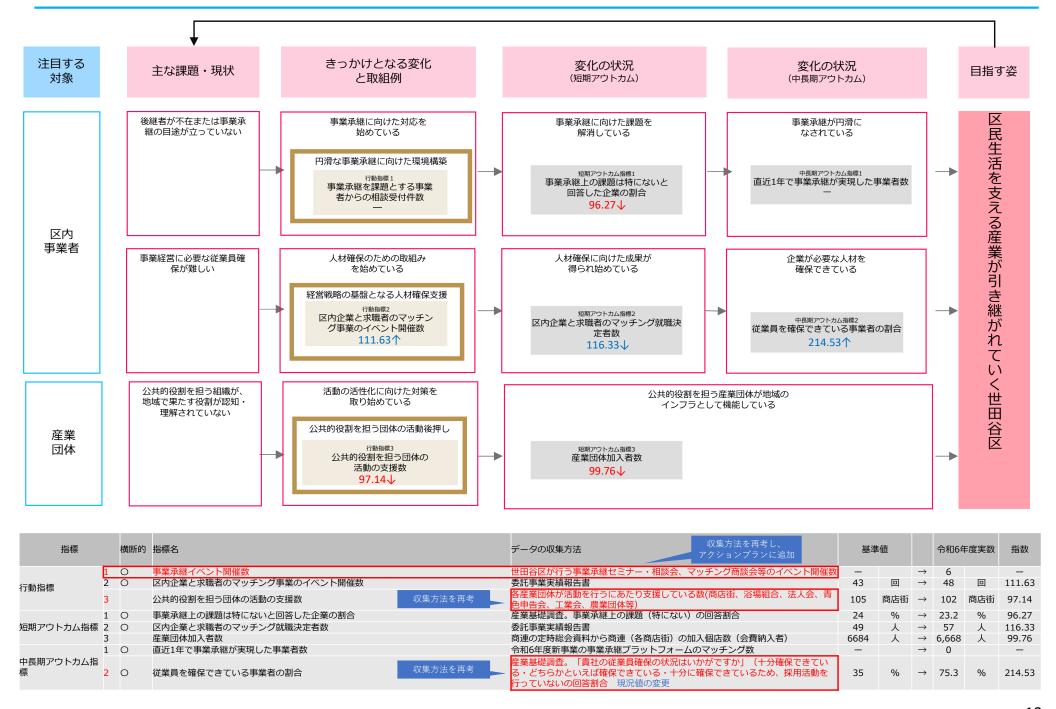
目指す姿2 多様な事業者が安心して継続的に事業を営み成長できる世田谷区

| | | | +41 555+7 | 目指す姿の実現に向けた取組 | 施策名 | | 具体的取組み | 行動指標 | R6実績 | R6~9までの |
|--------|----------------------------------|-------------------------------|--|---|---|---------------------|---|-------------------------------------|------------------------|-----------|
| 注目する対象 | 主な課題・現状 | きっかけとなる変化 と取組例 | 方針目指す姿2-1資金供給の円 滑化とセーフ ティネットの 提供・充実 | 事業者による資金需要を 支えるため、融資あっせ んの継続的な実施と利子 補給を実施します。また 経営相談等のの拡充な ど、セーフティネットの | ① 融資あっせん及び利子 業者負担の軽減 | 子補給による事 資 31 | 展 () | 度融 融資あっせん件数 | 1,952 件 | 達成率 27.3% |
| | 事業リスクや、経 営に関する不安・ 心配を抱えている | 相談の窓口や対応を認知する | | 提供と充実に取り組みま す。 | ②経営相談窓口の充実 | ② * | フンストップで行える総合経営相談の実 怪営支援コーディネーターを活用した訪 炎の実施 | ,,,, | 1,408 件 | 51.8% |
| | | 行動機(1) 経営相談の受付件数 257.95个 | | 事業活動を下支えする施 策や取組み(セーフティネット)に関する情報について、必男とする取得し やすくなる環境の構築に取り組みます。 | ① 産業情報の効果 的な発信 信 | ルマガジンに 産業情報の発 メ- | ールマガジン等による情報提供 | メールマガジン配信数 | 48 🗉 | 24.0% |
| | | 行動指標1 総合経営相談の発信 | 経営に必要な 体制整備の後 | 地域における事業者と消費 者の相互理解の増進や、地 域内での事業者間の協業・ 連携の促進、地域内での取 引促進の仕組みの検討など | ① る事業者・人材の育 ① 成、区内産業のイノ | 区内事業者間の交 支援 | | ビジネスマッチング支援事 業者数 | 0 社 | Ł 0.0% |
| | | | | 地域における事業者の顔の 見える化の検討をします。 | ②区民に対する都市農 ②業への理解促進 | ふれあい農園事業 実施 | のふれあい農園事業の実施 | ふれあい農園参加人数 | 30,37 5 人 | 22.3% |
| | | | | | ③住工共生まちづくりの | D推進 | ①住工共生まちづくりワーキング ②住工共生まちづくり交流イベン | | ①39 人 ②44 人 | |
| | | | | | 事業者の情報発信の 後押しと交流支援 | setabizの実施 | setabiz(産業振興公社事業) | ホームページ閲覧数 | 4,981 ^{アク} セス | 31.1% |
| | | | | | イベントや区有地等を 者の出店機会の創出 | を活用した区内事業 | | 区、産業振興公社による取 引促進につながる事業の実 施回数 | 2 🗉 | <u> </u> |
| | | | | | ⑥区内事業者間の取引機 | 幾会の創出 | 区内事業者間の取引機会の創出 | | 0 | _ |
| | | | | | 行政サービスにおける リーランスの積極的な | | イドサード 41 おけん区の事業者 | 小規模事業者・フリーラン スへの行政サービス発注回 | 0 回 | 0.0% |
| 区内 | | | | | ⑧区民に対する農業PRA | 機会の創出 | 都市農業振興・農地保全PRイベント開催 | 数 都市農業振興・農地保全P Rイベント開催回数 | 4 🗈 | 16.7% |
| 事業者 | | | | 受発注時等に弱い立場となりがちな個人事業主やフリーランス等が安心・安定して事業に取り組むことができるよう、価格交渉や納 | ①経営相談窓口の充実 [】] | 取引適正化等に関 る相談対応 | ①ワンストップで行える総合経営す 相談の実施②経営支援コーディネーターを活用した訪問等相談の実施 | 経営相談件数 | 1,408 件 | = 51.8% |
| | | | | 期設定など取引の適正化に 係る関係法令やガイドラインの周知強化、相談窓口を 通じた相談対応の充実など を図ります。 | ②産業情報の発信強化 | | る メールマガジン等による情報提供 情 (取引適正化に関するガイドライン等の情報提供) | | 1 🖻 | 4.2% |
| | | | 靭かつしたや | 災害時等に備えた知識や ノウハウの普及啓発、事 業継続計画(BCP)の策 定支援など、災害時・復 | ① 地域建設産業との意見 社会貢献活動の後押し | 見交換会の取組みと - | と 建設業界との密なコミュニケーション | 意見交換会等の回数 | 2 🗓 | 25.0% |
| | | | ながる後押し | 定支援など、災害時・復 旧時等の強靭かつしなや かな対応に繋がる普及啓 | ②BCP(事業継続計画)策 | 定支援 | BCP講座の実施 | BCP講座の実施回数 | 1 💷 | 25.0% |
| | | | | 20.0 mm (* + + + + + m + m) | ③サイバーセキュリティ ③解促進 | ィリスクに関する理 | 里 サイバーセキュリティセミナーの実 施 | セミナー開催回数 | 2 🗓 | 50.0% |
| | 産業や支援策に関 | 支援に関する様々な情報を入手する | 2 E 2 m + 4 ± ±0 | ン面し十7本要セ/- | | | | | | |
| | する情報を獲得で きていない | 産業情報の発信 | 2-5 必要な情報へ の円滑なアク セスの改善 | 必要とする事業者に 事業経営等に有効な 情報が届く広報を実 | 産業情報の効果 メール おな発信 る産業 | ルマガジンによ 業情報の発信 | ールマガジン等による情報提供 | メールマガジン配信数 | 48 [| 回 24.0% |
| | | ^{行動指標2} 産業情報の発信回数 | | 施するとともに、事 業に有効な統計デー | ②地域経済の分析情報等 | の提供・共有が | 対経済に関するデータ類の集計・集約 結果のHPでの提供 | と分 分析データの提供・共7 回数 | 7 [| 回 15.9% |
| | | - | | タの提供等、情報へ 円滑にアクセスでき | 3区内事業者の実態調査 | の実施 産 経 | 業基礎調査の実施と公開 経済産業白書の作成 | 調査実施回数 | 1 [| 回 25.0% |
| | | | | る環境の改善・構築 を行います。 | り産業団体との意見交換 | 会等の実施 産 | 業団体連絡会の開催 | 産業団体連絡会の回数 | 6 [| 回 30.0% |
| | | | | | 区内農業者への情報発 | | たがや営農だよりの発行 | 営農だより発行部数 | 6,000 है | 部 23.5% |
| | | | | | | ' | | | | |

目指す姿2 多様な事業者が安心して継続的に事業を営み成長できる世田谷区

| # 本の課題・規様 | | |
|--|--------------|----------------------|
| ### 2000 100 | | |
| ## 第 | 30 | 件 30.0% |
| #################################### | 20 | 件 25.0% |
| ### 1 | | 件 16.7% |
| 100分 100分 100分 100分 100分 100分 100分 100分 | | 件 21.7% |
| 100分 中が3年3月の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の | 18 | 件 37.5% |
| ・ | 17 | 件 28.3% |
| 中央 | 3 | 件 37.5% |
| | 0 | 件 0.0% |
| ② (区内・丁人材の育成支援 大地のの上に向けた意及容 大・ルマカジン等による情報提供(従来員等のスキル向上に向けた意及容 大・ルマカジン等による情報提供(従来員等のスキル向上に向けた意及容 スキルの向上に向する徳先活動の実施 (メールマカジンとよる 名を開かる スキルの向上に向する徳先活動の実施 スキルの向上に向する徳先活動の実施 スキルの向上に向する徳先活動の実施 スキルの向上に向する徳先活動の実施 スキルの向上に向する徳先活動の実施 スキルの向上に向する徳先活動の実施 スキルのランタル スカールの選入のデジタル スルの導入のデジタル スルの導入のデジタル スルの導入のデジタル スルの導入のデジタル スルの導入のデジタル スルの導入のデジタル スルの導入のデンタル スルの導入に向いた対象機能 スキを集まり スルの海ルで変換 スルの海に向けた変見 スルース・スルの海の経済 スルース・スルの海の経済 スルース・スルの海の経済 スルース・スルの海の影響 スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・スルの海の影が スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・スルース・スルース・スルース・発酵 スルース・スルース・スルース・スルース・スルース・スルース・スルース・スルース | 4,9 アク 81 | ^{クセ} ス31.1% |
| 2-3 デンタル化や 事業効率化や事業度 | | 回 33.3% |
| DX化の後押 | 2 | 回 12.5% |
| す。 ②区内 T 人材の育成 おしてとカフェセミナー 関係回数 対してものがソコン講座(東京都共催) 対応と応りないソコン講座(東京都共催) 対応と応力であった。 対応と応りないアコン講座(東京都共催) 対応と称のアリコン講座(東京都共催) 大きないでは、日本の大きなの主義になった。 大きないでは、日本の大きないでは、 | 30 | 件 30.09 |
| 空産に向けた一般保に向けた情報発症。 とジネス環境 とジネス環境 とジネス環境 とジネス環境 とジネス環境 とジネス環境 とボラネでは とジネス環境 とボラネでは とジネス環境 とボラネでは と、ボール と、 | | 回 33.3% |
| いったソフト面の支援や 店舗競技や地域機選別を | 0 | 件 0.09 |
| の構築を図ります。 | | 件 0.09 |
| 事業経営に必要な (従業員確保が難しい | | 回 40.09 |
| 本学経営に必要な | 16 | 件 35.69 |
| 2-4 安定的な事業従業員の確保に資する支援 経営戦略の基盤となる人材確保支援 行動指標4 区内企業と球職者のマッチング 事業のイベント開催数 111.63个 2-4 安定的な事業従業員の確保に資する支援 経営に必要な 体制整備の後、 元実、経営者による経営課 押し 製や取組みを共有する場や 機会の構築、安定的な事業 経営基盤や体制の構築を後 押しします。 2-4 安定的な事業従業員の確保に資する支援 経営に必要な 体制整備の後、 元実、経営者による経営課 の基盤となる人材確保・区内中小企業 の基盤となる人材は マッチング・採用促進コン マッチング等の実施 サルティング事業 (②福祉の仕事魅力発信事業 性対策・ストラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | _ |
| 2-4 安定的な事業従業員の確保に資する支援 経営戦略の基盤となる人材確保支援 行動指標4 区内企業と球職者のマッチング 事業のイベント開催数 111.63个 2-4 安定的な事業従業員の確保に資する支援 経営に必要な 体制整備の後、 元実、経営者による経営課 押し 製や取組みを共有する場や 機会の構築、安定的な事業 経営基盤や体制の構築を後 押しします。 2-4 安定的な事業従業員の確保に資する支援 経営に必要な 体制整備の後、 元実、経営者による経営課 の基盤となる人材確保・区内中小企業 の基盤となる人材は マッチング・採用促進コン マッチング等の実施 サルティング事業 (②福祉の仕事魅力発信事業 性対策・ストラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | R6~9まで |
| 経営に必要な (本制整備の後、定内企業と求職者のマッチング 事業の代べント間を対します。) (本制整備の後、定人の企業と求職者のマッチング 事業のイベント開催数 111.63个 | R6実績 | の達成率 |
| 事業のイベント開催数 111.63个 111.63个 地域産業の経営戦略 の基盤となる人材採 用促進 ②の本業となる人材採 用促進 ②は、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイベント開催数 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイング事業 では、アイングを表す。 では、アイングを表す。 では、アイング・定義には、アイング・定義には、アイング・では、アイング・では、アイング・では、アイン・の用では、アイン・の用では、アイング・では、アイン・では、ア | 170 , | 人 153.2% |
| ③ 区内企業への従業員の定着促進文法 人材マッチング・定着促進事業 ^{定有促進セミナーの} 開催回数 | 48 [| 回 26.7% |
| | 5 [| 17.9% |
| ① 「奨学金返還支援事業」を活用した登録 中小企業人材確保のための奨学金 補助件数 企業の支援 | 0 1 | 件 0.0% |

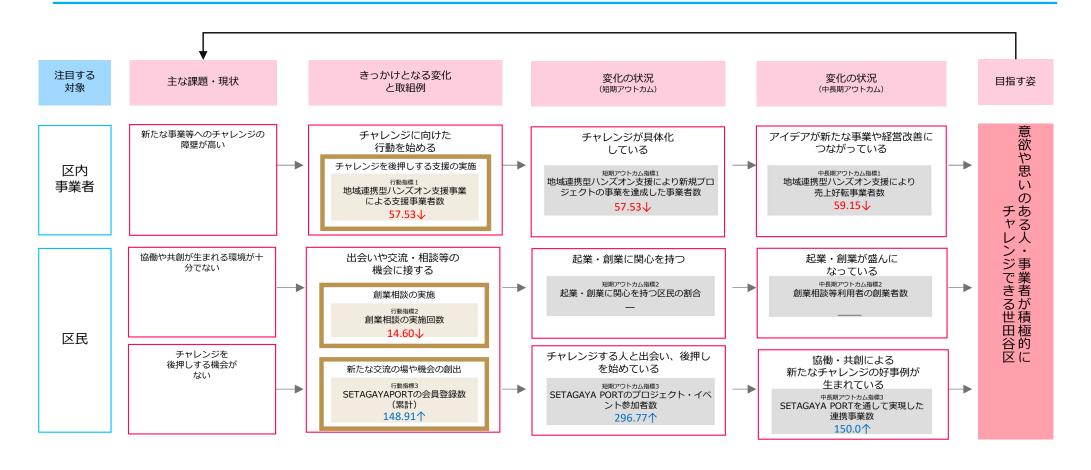
目指す姿3 区民生活を支える産業が引き継がれていく世田谷区



目指す姿3 区民生活を支える産業が引き継がれていく世田谷区

| | | | | | | | | | | | R6~9まで |
|-------------|---------------------------------|---|-----------|----------------------------|--|----------------------------------|--|--|--|-------------|--------------------|
| 注目する対象 | 主な課題・現状 | きっかけとなる変化 と取組例 | 方針 3-1 | _{目指す姿} 円滑な事業承約 | 目指す姿の実現に向けた取組み ※事業承継時に必要となる知識 | 施策名 事業承継の円滑な推 | | _{具体的取組み} 事業承継プラットフォーム構築運 営事業 | _{行動指標} プラットフォームへの新規 | R6実績 | の達成率 |
| ΩXJ3K | | | | に向けた顔の身 える環境の構築 | 版信や音及合充に取り組みより また、事業承継を検討する事 業者の棲むが共有される仕組 | | 古类系数学に関土 | ①ワンストップで行える総合経営 出来の実施 | | | 社 4.09 |
| | 後継者が不在または 事業承継の目途が 立っていない | 事業承継に向けた対応を 始めている | | | みを通じて、後継者(担い 手)候補との情報交換やマッチングを促進するなど、円滑な事業承継に向けた環境整備 | ②経営相談窓口の充実 | る相談対応 | ②経営支援コーディネーターを活 用した訪問等相談の実施 | | 1,408 | 件 51.8 |
| | | 円滑な事業承継に向けた環境構築 | | | を行います。 | | 知識やノウハウに 関する情報提供 | - <u></u> | | 6 | 回 25.0 |
| | | ^{行動指標1} 事業承継を課題とする事業者 からの相談受付件数 | | | | ④ 農業者の担い手育成 進 | のための取組み推 | ①農業塾(農業後継者育成事業) の開催 ②農業サポーターの登録者数の増 加に向けたPR活動 | ①せたがや農業塾参加者数 ②農業サポーター新規登録 者数 | (I)11 | 人 25.6% 人 17.5% |
| | | _{行動指標1} 事業承継イベント開催数 | | | 廃業を検討する事業者に対しても必要となる知義を得います。 つ等に関する情報発信や音及 啓発に取り組みます。また、 専門家(弁護士・税理士、 専門家(弁護士・税理士、 ・ 接や相談対応により、影響を 提い限としたが取れるよ う支援を行います。 | ①経営相談窓口の充実 | 廃業等に関する相 談対応 | ①ワンストップで行える総合経営 相談の実施 ②経営支援コーディネーターを活 用した訪問等相談の実施 | | 1,408 | 件 51.89 |
| 区内 事業者 | | | | | を受けた事業者に対して、再 チャレンジに向けた支援を行 います。 | ① 経営相談窓口の充実 | 廃業等に関する相 談対応 | ①ワンストップで行える総合経営 相談の実施 ②経営支援コーディネーターを活 用した訪問等相談の実施 | | 1,408 | 件 51.89 |
| | | | | | | ② 区民の起業・創業の 促進 | 特定創業支援事業 等の実施 | 特定創業支援事業の実施 | ①創業支援事業における創業相談等の実施回数 ②創業支援事業を受けた証明書の発行者数 | 1)66 | 回 17.99 人 17.29 |
| | | | | | | | | | | | R6~9# |
| | 事業経営に必要な従 業員確保が難しい | 人材確保のための取組み を始めている 経営戦略の基盤となる人材確保支 | 方針 2-4 | 安定的が重要 | 目指す姿の実現に向けた取組み 従業員の確保に資する支援 や雇用、従業員エンゲージ メントに関する相談の場の 充実、経営者による経営課 題や取組みを共有する場や | ^{施策名} 安定的雇用の促進 | 三軒茶屋就労支 援センター(お しごとカフェ) 事業の機能拡充 | 具体的取組み 三軒茶屋就労支援センター(おし ごとカフェ)事業 | ^{行動指標} 人材不足産業支援イベント の参加者数 | R6実績 170 | の達成率 |
| | | ^{行動指導2} 区内企業と求職者のマッチ ング事業のイベント開催数 111.63个 | | | 機会の構築、安定的な事業 経営基盤や体制の構築を後 押しします。 | 地域産業の経営戦略の 基盤となる人材採用促 進 | 区内中小企業等 人材マッチング 等の実施 | D建設業人材確保・区内中小企業 等人材マッチング・採用促進コン ナルティング事業 D福祉の仕事魅力発信事業 | ングイベント開催数 | 48 | 26.79 |
| | | | | | | 図区内企業への従業員の 「将党会返還支援事業 | '足有'处些又拔 | 建設業人材確保・区内中小企業等 人材マッチング・定着促進事業 中小企業人材確保のための奨学金 | 数 | 5 | 17.99 |
| | | | | | | 企業の支援 | :」で冶用した豆螺 | 区還支援事業補助金 | 補助件数 | 0 | 件 0.09 |
| | 公共的役割を担う組 織が、地域で果たす | 活動の活性化に向けた対策を取り始めている | 方針 | 目指す 目指す姿の身 姿 た取制 | | 施策名 | | 具体的取組み | 行動指標 | R6実績 | R6~9までの 達成率 |
| | 役割が認知・理解さ れていない | 公共的役割を担う団体の活動後押 行動標3 公共的役割を担う団体の 活動の支援数 | 3-2 | 公共的役 う産業団 | 割を担 区民生活の充実や 体等組 域経済活性化に貢 化 する公共的役割を う産業団体等組織 活性化や活動の円 化を後押しします。 | 献 旦 ①公共的役割を担う) の支援 骨 | 産業団体等の活動へ | ②公衆浴場補助 | ①商店街への支援件数 ②公衆浴場への支援件数 ③産業団体等への支援件数 | | 98.4% |
| 産業 団体 | | 97.14↓ | | | 1000110007 | 工業振興等公共的? 動支援 | 役割を担う団体の活 | 産業団体等振興育成補助 | 支援件数 | 1 件 | 25.0 |
| | | | | | | ③ 地域建設産業との 3 と社会貢献活動の | 意見交換会の取組み 後押し | 建設業界との密なコミュニケー ション | 意見交換会等の回数 | 2 🗉 | 25.09 |
| | | | | | | 事業者等に対する | 公共的役割を担う団 | 産業団体等振興育成補助 | 支援件数 | 6 件 | 1009 |

目指す姿4 意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区



| 指標 | | 横断的 | 指標名 アクションブランの ロードマップから | データの収集方法 | 基準 | 善値 | | 令和6年度 | 実数 指数 |
|-----------|---|-----|---------------------------------------|--|------|-----------|---------------|-------|-----------|
| | 1 | | 地域連携型ハンズオン支援事業によるスクール実施及び交流会の開催 | ハンズオン支援事業の実績より | 73 | 事業者 | \rightarrow | 42 事 | 業者 57.53 |
| 行動指標 | 2 | 0 | 創業相談の実施回数 | 産業振興公社が行うワンストップ相談窓口及び創業セミナーの実施回数 現況値の 変更 | 452 | | \rightarrow | 66 | 回 14.60 |
| | 3 | | SETAGAYAPORTの各プロジェクトの実施 | SETAGAYA PORTのプロジェクト実施数 | 4500 | 人 | \rightarrow | 6701 | 人 148.91 |
| | 1 | | 地域連携型ハンズオン支援により新規プロジェクトの事業を達成した事業者数 | ハンズオン支援事業の実施状況 収集方法を再考 | 73 | 事業者 | \rightarrow | 42 事 | 業者 57.53 |
| 短期アウトカム指標 | 2 | 0 | 起業・創業に関心を持つ区民の割合 | 区民意識調査等区民に対するアンケートの実施 | 18 | % | \rightarrow | _ | % – |
| | 3 | | SETAGAYA PORTのプロジェクト・イベント参加者数 収集方法を再考 | SETAGAYA PORTにおけるピッチイベントの来場者数(令和 5年度はNEW WAVE の事前申込者数) | 31 | 人 | \rightarrow | 92 | 人 296.77 |
| 中長期アウトカム指 | 1 | | 地域連携型ハンズオン支援により売上好転事業者の割合 | ハンズオン支援した事業者へのアンケート | 71 | 事業者 | \rightarrow | 42 事 | 業者 59.15 |
| 中区物グフトカム指 | 2 | Ó | 創業相談等利用者の創業者の割合 | 創業支援等事業を受講して創業した <mark>割合</mark> 。 | 292 | 人 | \rightarrow | | 人 |
| 1775 | 3 | | SETAGAYA PORTを通して実現した連携事業数 | SETAGAYA PORTの連携事業数 | 10 | 事業 | \rightarrow | 15 | 事業 150.00 |

目指す姿4 意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区

| | | | | | | | | | | R6~9まで | | |
|-----------|----------------------|--|--|---|--|---------------------------|---|--|-------------|---------------------------------------|---|---------|
| 注目す | 主な課題・現状 | きっかけとなる変化 | 方針 目指す姿 | 目指す姿の実現に向けた取組み | 施策 | 名 | 具体的取組み | 行動指標 | R6実績 | の達成率 | | |
| る対象 | 新たな事業等への チャレンジの障壁 | チャレンジに向けた | 4-1 新たなチャ レンジを後 押しする環 境や手段の 充実 | 実務専門家による助言や伴走等 を得られる仕組みを通じて、新 たなチャレンジや前向きな挑戦 を後押しするとともに、チャレ ンジする事業者や区民を応援す る仕組みについて検討します。 | ① の実施 | ₹ 研修型スクール事業・交流 会 | 地域連携型ハンズオン支援の実施 (研修型スクール事業・交流会) | スクール受講生又は交流会参加 数 | 78 | 人 156.0% | | |
| | が高い | 行動を始める チャレンジを後押しする支援の実施 「おります」 「おります」 「カリカ では、 | | 新たなビジネスや様々な活動や 試行を実証的に実施できる場や ビジネス構築に向けた必要な社 会実証実験、テストマーケティ ング等を行うことができる環境 の構築、機会の創出に取り組み ます。 | 新たな価値を創出する事業 ① 者・人材の育成、区内産業 のイノベーションの創出 | 会実証実験等の推進 | テストマーケティング、社会実証実験等 の推進 | | 0 | □ 0.0% | | |
| | | による支援事業者数 | | 新たな気づきや付加価値の増大 | 産業交流による新たな産業 | SETAGAYA PORTを通じ | 産業創造プラットフォーム"SETAGAYA | SETAGAYA PORTの新規会 | 6,701 | 人 97.1% | | |
| 区内 事業者 | | 57.53↓ | | を目指した交流の場の構築や機 会の創出を促進します。 | の創出 新たな価値を創出する事業 ② 者・人材の育成、区内産業 のイノベーションの創出 | | PORT" 入居者や区内産業とのビジネスマッチングの実施 | <mark>員登録者数(累計)</mark> ビジネスマッチング支援事業者 数 | 0 | 社 0.0% | | |
| | | 行動指標1 地域連携型ハンズオン支援事業によ | | | ③ 産業プラザにおける交流促 | ≟進機能の拡大 | 産業プラザの効果的な活用及び機能強化 | | 1 | 回 25.0% | | |
| | | るスクール実施及び交流会の開催 | | 安心してチャレンジできること や再チャレンジを後押しするため、セーフティネットの充実や リスキリング、採用に関する機 会の創出などを行います。 | ① 融資表の社 4 乃び利子補給 | | に向けた意見交換会 ①低利な融資あっせんの実施 ②その時々の経済情勢等に応じた新たな制度融資あっせんの実施検討 ③省エネルギー対策資金の対象拡充の核 討 ④継続的な利子補給支援の実施 | | | 件 27.3% | | |
| | 協働や共創が生ま | 出会いや交流・相談等の | | | ② 経営相談窓口の充実 | | ①ワンストップで行える総合経営相談の 実施 ②経営支援コーディネーターを活用した 訪問等相談の実施 | 级 学相談 <u>件</u> 数 | 1,408 | 件 51.8% | | |
| | れる環境が十分でない | 機会に接する | | | 新たな価値を創出する事業 ③ 者・人材の育成、区内産業 のイノベーションの創出 | だ アクセラレータープログラ ムの実施 | アクセラレータープログラムの実施 | アクセラレータープログラム支 援事業者数 | U | 社 0.0% | | |
| | | | | | ④ 地域連携型ハンズオン支援 | その実施 | 地域連携型ハンズオン支援の実施 | 事業実施前と比較し、売上変動 が好転した事業者数の増加 | 42事 | 業者 13.1% | | |
| | | 創業相談の実施 _{行動指標2} 創業相談の実施回数 | | | ⑤ 多様な働き方の環境整備⑥ 産業情報の発信強化 | 保険労務士相談の実施 | 多様な働き方の相談・社会保険労務士権 談の実施 メールマガジン等による情報提供(リス | 多様な働き方の相談実施回数・ 社会保険労務士相談の実施回数 リスキリング等に関する情報発 | | 33.1%12.5% | | |
| | | 14.60↓ | | 中間支援機能を持つ組織との連 携を強化し、効果的に新たな | | 報発信 行支援の強化 | キリング等に関する情報発信の実施) 産業振興公社との連携による事業者支援 | | 3 | 日 12.570 一 | | |
| | | | | | | チャレンジを後押します。 | ② 産業団体との意見交換会等 | の実施 | 産業団体連絡会の開催 | 産業団体連絡会の回数 | 6 | 回 30.0% |
| | | 新たな交流の場や機会の創出 行動指標3 | 4.0 m/s s/m/s | | ③ 地域金融機関等とのネット | | 地域金融機関等との連携事業の実施 | 地域金融機関等との連携事業の 実施回数 事業実施前と比較し、売上変動 | 1 | 回 25.0% | | |
| | | SETAGAYAPORTの会員登録数 | 4-2 新たな価値 をもたらす | 地域の多様な専門人材やフリー ランス人材などと地域産業の接 | ① 地域連携型ハンズオン支援 | その実施 | 地域連携型ハンズオン支援の実施 | がが転した事業支粉の増加 | 42事 | 業者 13.1% | | |
| | | (累計) 148.91个 | 専門人材の 活用の後押 | 点の増加を促し、地域の産業支援につながる双方の成長と新たな価値の創出を後押しします。 | | | 産業創造プラットフォーム"SETAGAYA PORT" | | 1,956 | 人 69.9% | | |
| | | √ 新版價 2 | L | | ③ 極的な活用 | 9事来有ヤノリーノンへの債 | 行政サービスにおける区内事業者の活用 促進 | の行政サービス発注回数 | 0 | 回 0.0% | | |
| 区民 | チャレンジを | ♥ 行動指標3 SETAGAYAPORTの 各プロジェクトの実施 | | | ④ 産業支援業の活用推進 | | 産業支援業の活用後押し | | 0 | 0.0% | | |
| | 後押しする機会が ない | | 応援する仕組み | 起業・創業に必要な知識やノウ ハウ等に関する情報や理解を得 ることができるメールマガジン の配信や創業セミナーの開催及 | ① 区民の起業・創業の促進 | 特定創業支援事業等の実施 | 特定創業支援事業の実施 | ①創業支援事業における創業 相談等の実施回数 ②創業支援事業を受けた証明 書の発行者数 | ①66 ②310 | 回 17.9% 人 17.2% | | |
| | | | | び質の向上を図るとともに、オ ンライン活用やライフスタイル | ②産業情報の発信強化 | 起業・創業支援策の情報発 信 | メールマガジン等による情報提供(起 業・創業支援策の情報発信の実施) | 起業・創業に関する情報発信 (メールマガジンに配信数) | 3 | 回 12.5% | | |
| | | | | に応じた対応などの利便性の向 上を図ります。 | ③ 経営支援コーディネーター | | 経営支援コーディネーターによる総合的 な経営支援の実施 | 経営支援コーディネーターに よる総合的な経営支援の実施 件数 | 100 | 件 21.7% | | |
| | | | | 資金調達や手続き等に関する相 談の場や機会を構築・拡充しま す。 | | | 入居者や区内産業とのビジネスマッチングの実施 | 者数 | 0 | 社 0.0% | | |
| | | | | | ② 経営相談窓口の充実 | | ①ワンストップで行える総合経営相談の 実施 ②経営支援コーディネーターを活用した 訪問等相談の実施 | 47 ₩ +0 =v /r+ ¥h | 1,408 | 件 51.8% | | |
| | | | | 起業・創業者の意欲や思いに対 して、区民が応援する仕組みの | ① 地域連携型ハンズオン支援 | の実施 | 地域連携型ハンズオン支援の実施 | 事業実施前と比較し、売上変 動が好転した事業者数の増加 | 42 = | 事業者 13.1% | | |
| | | | | 検討・構築を行います。 | - | たな産業の創出 | 産業創造プラットフォーム"SETAGAYA PORT" 基金やファンド等による区内産業の活性 ル | 貝宜辣者数 (系計) | 1,956 | 人 69.9% 1 | | |
| | | | | | 3計 | | 化 | | _ | -16 | | |

「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」の考え方

概略

- ◆ 本資料は、「世田谷区地域経済発展ビジョン」の「目指す姿」ごとに、その実現に向けた道筋を「ロジックモデル」として整理するとともに、指標を設定し、産業分野や地域経済への影響・波及を捉え、政策全体の達成状況を測定・評価することで見える化するものです。
- 具体的には、各ロジックモデルにおいて、「目指す姿」の実現に向けた道筋や変化を象徴的に示す事象に対して指標を設定(参照:ソーシャルインパクト指標一覧)、測定、評価するとともに、「ソーシャルインパクト指標」として、全体を総合的に捉えた指数「持続可能な地域経済の充実度」について目標値を示し、取組みを進めていきます。(インパクト測定・マネジメント)
 - ※ソーシャルインパクト指標:事業や活動の結果として生じた社会的変化や社会的な効果を測定し、分かりやすく伝えるための指標。個々の取組みによる「対象」の「変化」を捉え、「対象」や社会にもたらされる便益や変化を捉えるべく設定。

指標の策定の考え方

- 「目指す姿」が実現した(又は実現に近づいている)状態がどのような状態かという観点から、特に重要または象徴的な事象や要素を抽出し、そこに至る変化の道筋を導出しています。あくまで「目指す姿」の実現度合いを象徴的に測定するものです。
- 「きっかけとなる変化と取組例」に記載の行動変容に対して寄与のある施策を「取組み例」及び「行動指標」として記載しています。また、「変化の状況(短期アウトカム)」は、個々の「注目する対象」がどう変化するか、「変化の状況(中長期アウトカム)」は、「注目する対象」を集合体として捉えた場合にどう変化するかという観点から設定しています。
- 社会経済情勢の変化は激しくスピードも速いため、その変化やニーズを踏まえた考え方の取り込みや新たな施策の構築等が今後ますます不可欠です。「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」においても、「世田谷区地域経済発展ビジョン」の方向性の下、運用しながらその考え方や指標の取り方を定期的に検証し、必要に応じた見直し・改善を図り、考え方や手法の確立に取り組んでいきます。
- なお、各ロジックモデルの「指標」のうち下線を引いている指標は、 世田谷区基本計画及び実施計画において位置づけられている指標と 同一のものを指しています。

指標

| 成果指標名 | 単位(| 現状値 | 中間目標 値 | 最終目 標値 |
|--------------------|------|------------|------------|--------------------|
| | | 令和 5 年度 | 令和 9 年度 | 令和 13 年度 |
| 持続可能な地域 経済の充実度※ | ポイント | 100 | 1 3 0 | 1 3 5 |

※「ソーシャルインパクト指標一覧」における「中長期アウトカム」から算出

